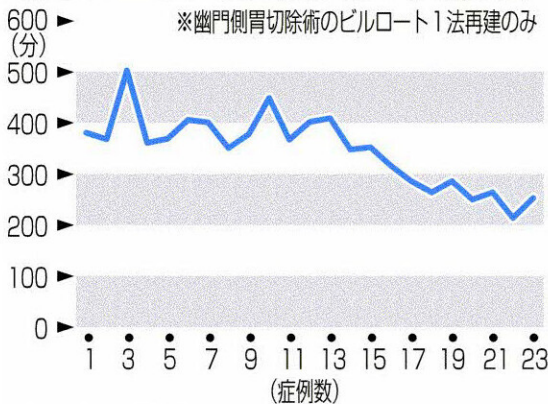


# 山梨県立中央病院 胃がんロボット支援手術の手術時間

※幽門側胃切除術のビルロート1法再建のみ



おおもり・はやとさん 2009年富山大医学部卒。相沢病院、静岡がんセンターを経て19年4月から現職。内視鏡外科学会技術認定医、消化器外科専門医、ロボット外科学会専門医、消化器病専門医、外科専門医。甲府市出身。36歳。趣味はトレイルラン、ロードバイクなど。



「専門は胃がんの外科治療。静岡がんセンターで5年間、ロボットを立てたい」と話す。

より胃がんの手術を始めた。人の手より可動域が広く、繊細な動きができるのが特徴で、昨年度は22件実施。本年度に入ってから1回近いペースで執刀している。

がん手術は、現在は腹腔鏡手術が

甲府市出身。子どもの頃は同病

## 医療最前線 令和を担う 県立中央病院から

〈182〉

# 胃食道外科・大森隼人医師 手術支援ロボで正確執刀

支援手術の第一人者寺島雅典医師の下で学んできた。県立中央病院では、上司の医師についてロボット支援手術のサポートに当たっている。

同病院は昨年4月から、手術支援ロボット「ダヴィンチXi」に

同病院では今まで早期がんのみで実施してきたが、より難しい進行がんへの適応も検討。現在は全体の5割程度の腹腔鏡

静岡では最先端の技術に触れてきたが、執刀する機会は少なかった。「外科医なので手術が好き。学んできたことを患者さんのために実践したいというのが今の思いです」